

Vritual Reality アプリ開発 gPBL – 泰日工業大学

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年02月15日 ～2025年02月22日	タイ	泰日工業大学	情報工学科、 デザイン工学科 学部3年生、学部2年生	(芝浦工業大学) 学生12名、 学生バイト2名、 教員1名 (泰日工業大学) 学生11名、 学生バイト2名、 教員3名	井尻 敬 (情報・通信工学課程情報工 学コース)



成果発表後の集合写真1

泰日工業大学(TNI)と共同で、Virtual Reality applicationを開発するglobal PBLを実施した。本プログラムには、情報工学科2年生11名、デザイン工学部3年生1名、修士(TA)2名、TNIより12名の学生と2名のTAが参加した。本gPBLでは、事前学習を1/14より開始し、2/14～2/23の期間においてタイバンコクにある泰日工業大学に滞在しグループワーク等を実施した。

事前学習では、Virtual Realityアプリケーション開発に必要な事前知識をつけるため『Unityの使い方(オンデマンド動画視聴と自習)』と『Meta Quest 2アプリケーション開発演習』を実施した。加えて現地文化への理解を深めるため『タイ文化に関する講義(IGP Sripian先生)』を行った。

現地では、芝浦工大の学生とTNI学生が2人1組となってグループワークを実施した(芝浦の学生2名が参加するグループもあり)。グループワークでは、Quest 2を利用したアプリケーション開発のチュートリアル、開発テーマを決めるためのディスカッション、開発テーマを発表する中間プレゼン、テーマに沿った開発、開発成果発表会(プレゼンと体験会)を実施した。また、バンコク市内の寺院やミュージアムを見学するField Tripや、工場見学も実施した。



成果発表後の集合写真2



グループワークの様子



グループワークの様子



グループワークの様子



昼食



プレゼン